

産業廃棄物処理施設維持管理記録

2022年 9 月度

(対象期間 2022年9月1日 ~ 2022年9月30日)

バイオマス焼却設備(利根川事業所)

①. 処分した産業廃棄物の種類及び数量

種類	数量(トン/月)
汚泥	2,689.5
廃プラスチック類	1.8
紙くず	3.5
木くず	9.8
廃油	1.0
合計	2,705.6

②. ばいじんの除去(清掃)を行った年月日

2022年6月13日	減温塔清掃
2022年8月22日	8月15日~27日焼却設備止転整備

※上記の他、ばいじん除去は連続で行っています。

③. 煙突から排出される排ガスの測定に関する事項

(1)排ガスを採取した位置	焼却炉煙突		
(2)排ガスを採取した年月日	2022年5月10日、8月12日		
(3)測定の結果の得られた年月日	2022年6月6日、8月31日		
(4)測定の結果			
項目	測定結果(単位)	基準値 ^{※2,3}	
硫黄酸化物	0.07 (m ³ /h)	39.5	大防法
ばいじん	0.004 (g/m ³) ^{※1}	0.04	大防法
塩化水素	1 (mg/m ³) ^{※1}	700	大防法
窒素酸化物	160 (cm ³ /m ³ (ppm)) ^{※1}	250	大防法
ダイオキシン類	0.000041 (ng-TEQ/m ³) ^{※1}	0.1	特措法

※1: 酸素12%換算値

※2: 大防法→大気汚染防止法 特措法→ダイオキシン類対策特別措置法

※3: 硫黄酸化物については、設計上の排出量

バイオマス焼却発電施設(八潮工場)

①. 処分した産業廃棄物の種類及び数量

種類	数量(トン/月)
汚泥	4,101.0
廃プラスチック類	6.0
紙くず	3.5
木くず	10.0
廃油	
合計	4,120.5

②. ばいじんの除去(清掃)を行った年月日

2022年4月28日~30日	炉内、ストーカー下、バグフィルター
2022年5月2日~4日	炉内、煙道、吸収塔
2022年8月13日	吸収塔

※上記の他、ばいじん除去は連続で行っています。

③. 煙突から排出される排ガスの測定に関する事項

(1)排ガスを採取した位置	焼却炉煙突		
(2)排ガスを採取した年月日	2021年9月13日、2022年9月5日		
(3)測定の結果の得られた年月日	2021年10月19日、2022年9月20日		
(4)測定の結果			
項目	測定結果(単位)	基準値 ^{※2,3}	
硫黄酸化物	0.03 (m ³ /h)	4.6	大防法
ばいじん	0.001 (g/m ³) ^{※1}	0.04	大防法
塩化水素	2 (mg/m ³) ^{※1}	200	条例
窒素酸化物	100 (cm ³ /m ³ (ppm)) ^{※1}	180	条例
ダイオキシン類	0.023 (ng-TEQ/m ³) ^{※1}	0.1	特措法

※1: 酸素12%換算値

※2: 大防法→大気汚染防止法 特措法→ダイオキシン類対策特別措置法

※3: 硫黄酸化物については、設計上の排出量

バイオマス焼却設備(尼崎工場)

①. 処分した産業廃棄物の種類及び数量

種類	数量(トン/月)
汚泥	1,890.0
廃プラスチック類	68.6
紙くず	
木くず	
廃油	
合計	1,958.6

②. ばいじんの除去(清掃)を行った年月日

※上記の他、ばいじん除去は連続で行っています。

③. 煙突から排出される排ガスの測定に関する事項

(1)排ガスを採取した位置	排気筒		
(2)排ガスを採取した年月日	2022年8月5日、9月8日		
(3)測定の結果の得られた年月日	2022年9月2日、9月28日		
(4)測定の結果			
項目	測定結果(単位)	基準値 ^{※2,3}	
硫黄酸化物	<0.017 (m ³ /h)	1.76	大防法
ばいじん	0.0057 (g/m ³) ^{※1}	0.08	大防法
塩化水素	2.8 (mg/m ³) ^{※1}	700	大防法
窒素酸化物	130 (cm ³ /m ³ (ppm)) ^{※1}	250	大防法
ダイオキシン類	0.021 (ng-TEQ/m ³) ^{※1}	1	特措法

※1: 酸素12%換算値

※2: 大防法→大気汚染防止法 特措法→ダイオキシン類対策特別措置法

※3: 硫黄酸化物については、設計上の排出量

※尼崎工場では、7月12日に産業廃棄物焼却設備を廃止し、8月19日より新たなバイオマス焼却設備を運転しています。